

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化会館通年開館事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	04	01	51
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化会館利用者	意図	年末年始を除き通年で文化会館を開館することで、利用できる日数を増やし利便性を高める。
事業内容	生涯学習等の活動の場を提供する機会の拡大として、年末年始を除き通年で文化会館を開館し、利用できる日数を増やす。			
事業開始から現在までの状況変化	平成15年度から祝日開館を開始し、平成16年度から何年末年始を除く通年開館（月曜日、祝日開館）を実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	1日平均の利用件数の増減率	-4.20	6	11.70	%	↑↑↑	(当該年度/前年度) - 1 * 100
	②	1日平均の利用人数の増減率	-17.60	-0.40	15.60	%	↑↑↑	(当該年度/前年度) - 1 * 100
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・費用対効果を考慮した効率的な施設提供を行う。 ・通年開館の利用については、周知されてきている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		29,149,162	32,873,955	33,862,852				
事業費(b)(円)		23,057,762	25,295,275	25,165,952				
うち一般財源		23,057,762	25,295,275	25,165,952				
職員給与費(c)(円)		6,091,400	7,578,680	8,696,900				
人役・職員(人)		0.22	0.34	0.40				
人役・再任用(人)		0.10	0.40	0.40				
人役・臨職(人)		3.40	3.40	3.40				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	通年開館の周知と利用しやすい環境づくりを推進する。	③取組における課題(Check)	通年開館は定着してきたが、さらなる利用促進を図る。確定申告の実施に伴う施設利用者への対応。
②H30に実施した取組(Do)	ホームページや広報等を活用して施設の利用状況と空き状況を周知した。確定申告会場となり一部会議室が使用できないため、利用団体への事前周知のほか、広報やホームページで周知した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	調理室の利用促進を図る。確定申告期間の施設利用については、担当課と連携を図る。